

第3回第1部会(H29.7.3開催)での主な意見と対応

資料4: 協働体制・市民等へのメッセージ・主な指標と目標値

	区分	主な質疑内容	回答・対応等
①	主な指標と目標値 「1-1自然環境の保全」	黒部峡谷への入山者数は、宇奈月からの入山者数をカウントしているのか。	宇奈月側から入る人を対象としています。
②		「ゴミ持ち帰り」は行動が見えるメッセージとなっている。しかし、そのほかのメッセージには、全体を包括するような表現であり、どちらかに統一したほうが良いのではないかと。また、景観に関心を持つという表現より、自然保護や環境保全に絞った書き方が良いと思う。	メッセージの表現を統一します。また自然保護や環境保全に絞った内容となるよう見直します。
③	市民等へのメッセージ 「1-1自然環境の保全」	野生鳥獣の保護とあるが、この表現では、有害鳥獣も保護するようにも捉えられる。「保護」という表現を改めてはどうか。	有害鳥獣についても生態管理を行うことで保護につながるという意図で記載しています。メッセージについては動植物を含めた内容に見直します。
④		保護の対象には植物も含まれるのか、含まれるのであれば、そのメッセージが必要である。鳥獣だけでなく、動植物として整理してほしい。	

第3回部会以降の意見・提言

	区分	意見内容等	回答・対応等
⑤	資料4: 個別事業ごとの役割分担(事業主体) 「1-2 河川・海岸環境の保全と整備」	事業メニュー「黒部川の水環境改善の促進」の個別事業「黒部川水辺の賑わい創出の取組」について、個別事業の概要を見ると事業主体は市としたほうがよいのでは。	ご指摘の箇所については、「市」に修正します。
⑥	資料3: 個別事業一覧 「1-6 消防・防災体制の充実」	事業メニュー「災害に対する意識啓発活動の推進」の個別事業名「河川想定最大規模洪水の周知及び避難等の検討を図る情報等の提供」の事業概要に情報提供や災害・避難カードの普及に関する記載を追加してはどうか。	事業概要の「情報提供を実施する。」を「情報提供や災害・避難カードの普及を図る。」に修正します。